主要繁華街の滞留人口モニタリング重点措置適応前後の推移

< 2021/04/13 までのデータ >

東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 西田 淳志

ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンからレジャー目的の人流・滞留を推定※
- 主要繁華街にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を 1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- LocationMind ⇒ 都医学研



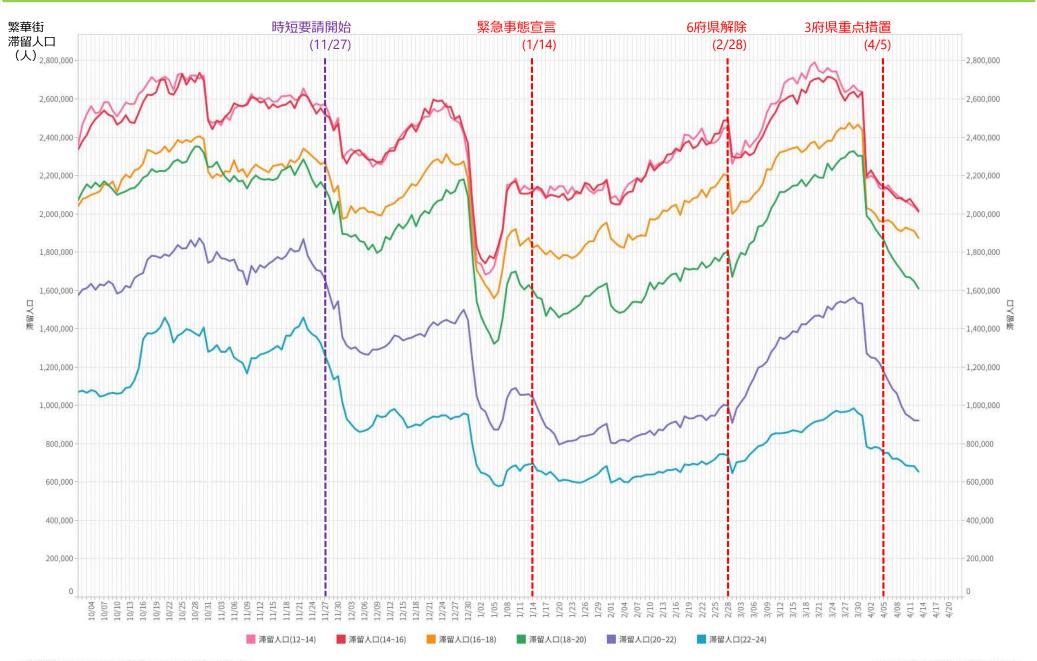


※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後, 職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

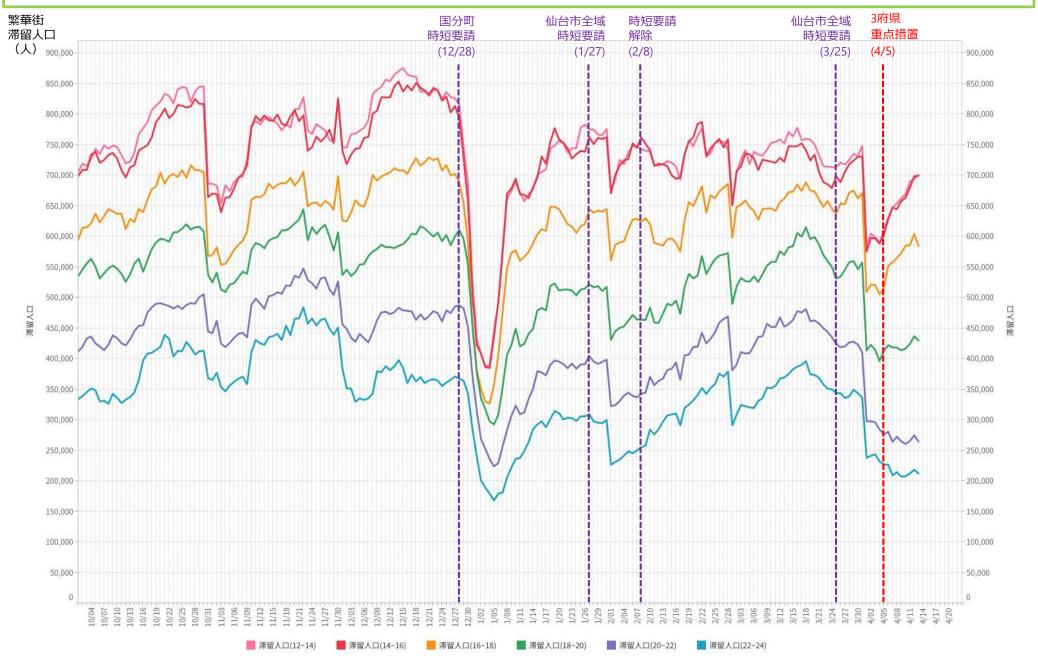
時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移:東京(2020年10月1日~2021年4月13日)



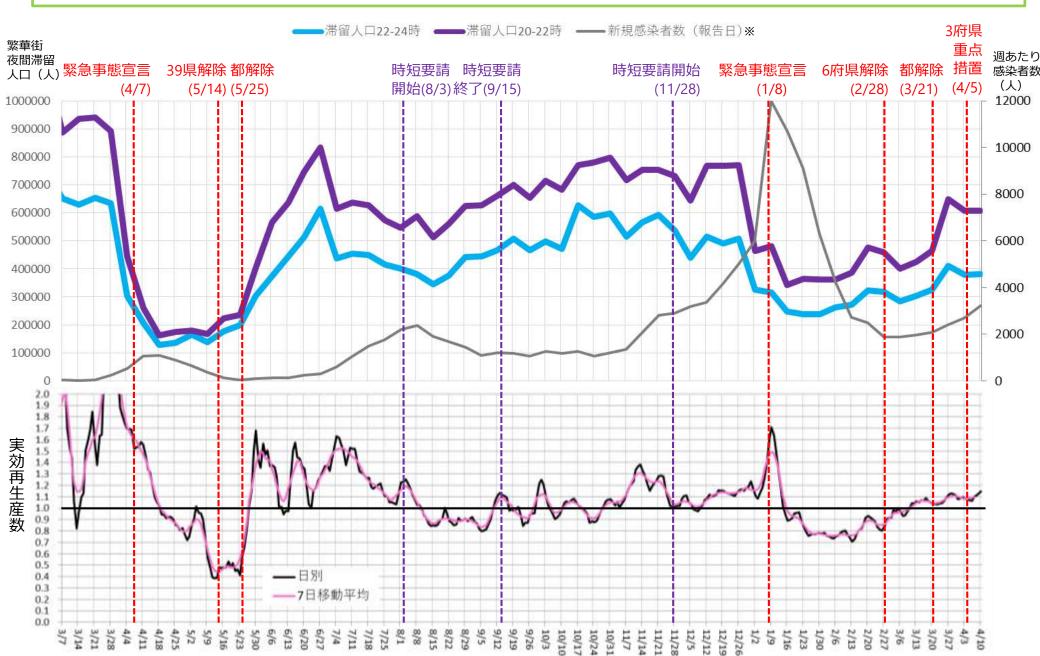
時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移:大阪(2020年10月1日~2021年4月13日)

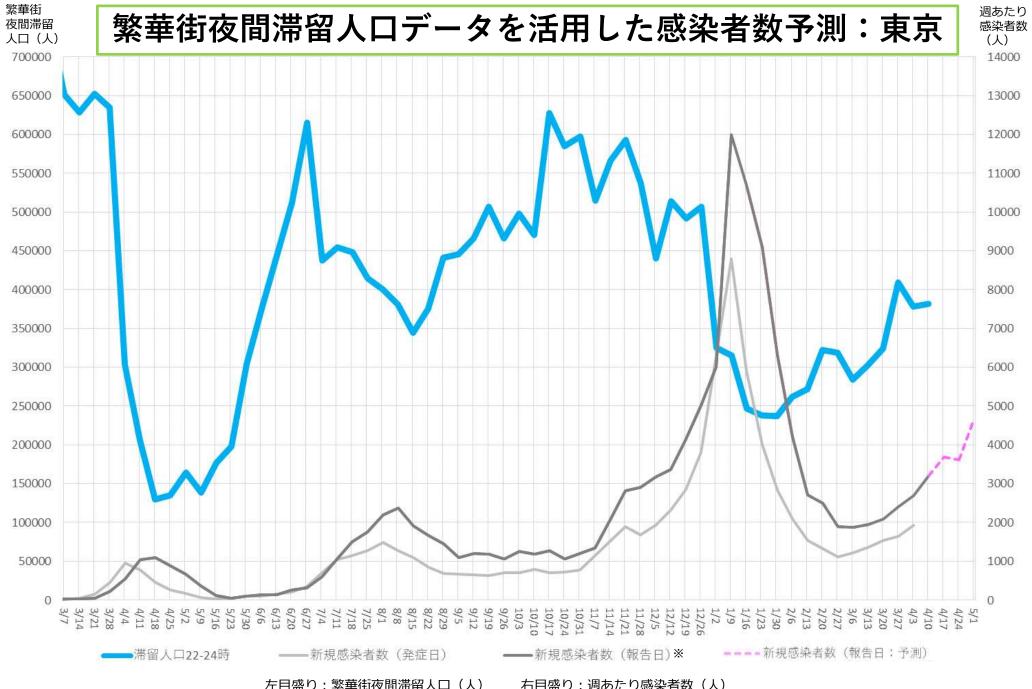


時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移:宮城(2020年10月1日~2021年4月13日)



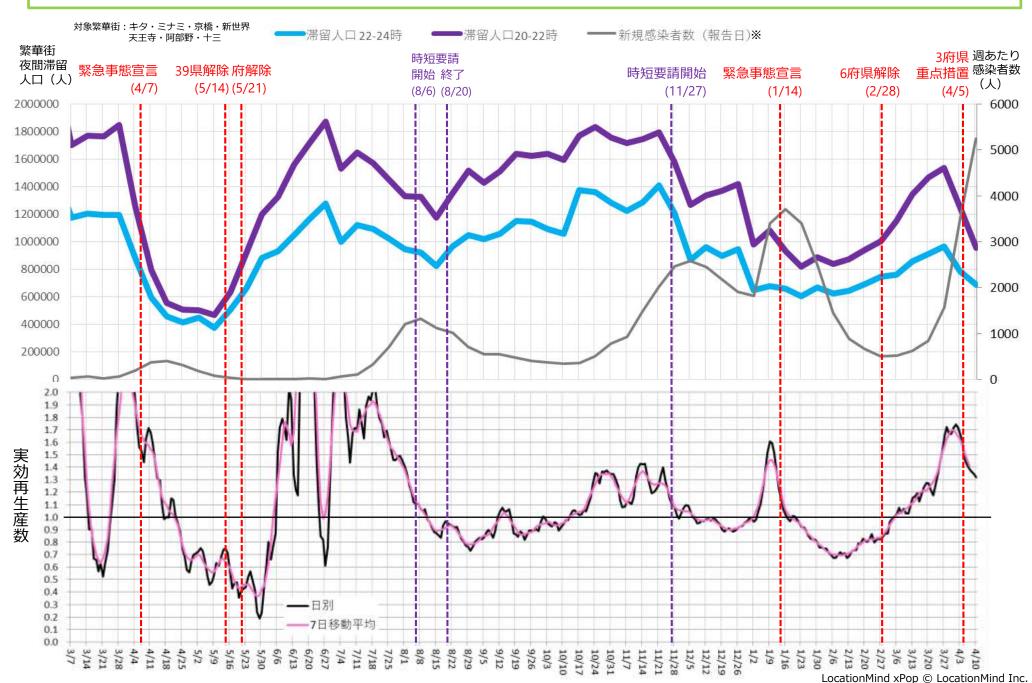
主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京(2020年3月1日~2021年4月10日)

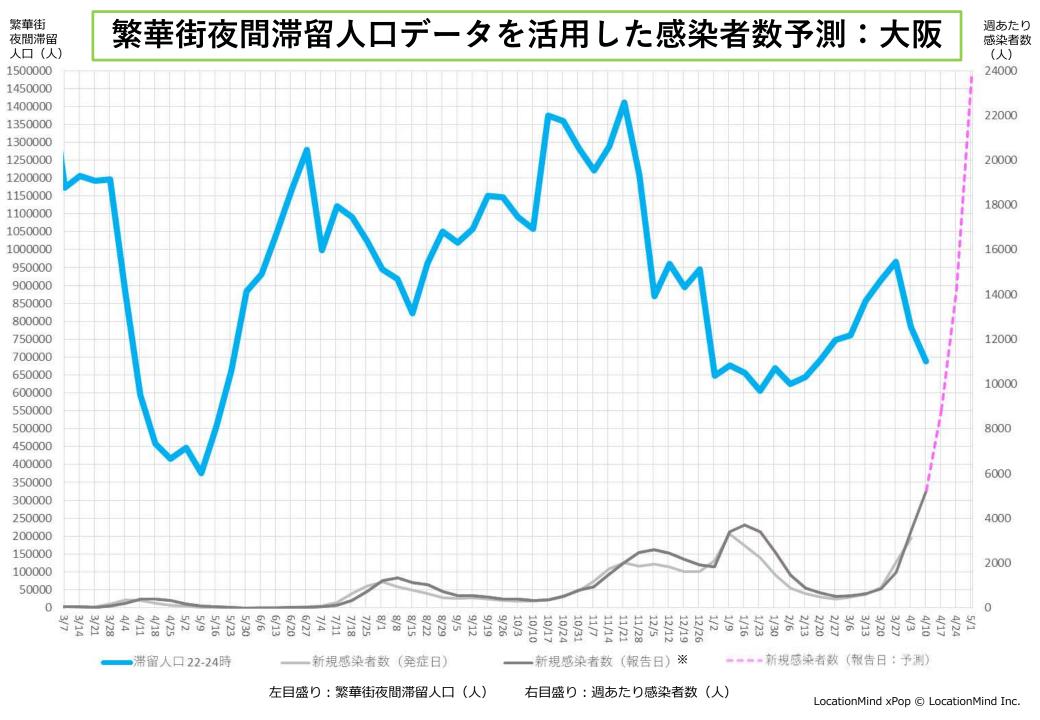




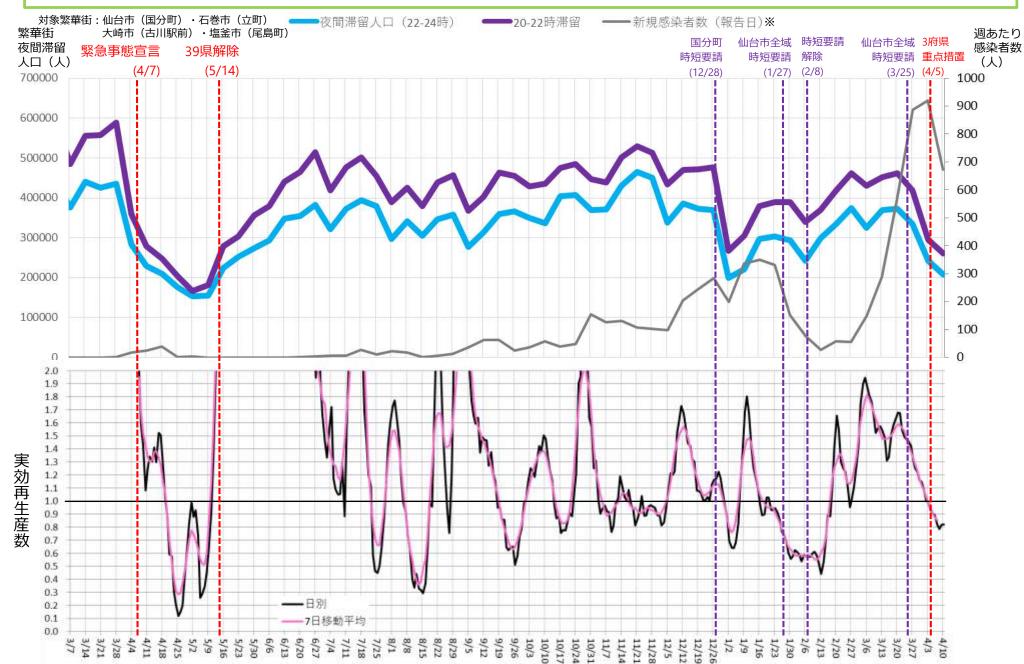
左目盛り:繁華街夜間滞留人口(人) 右目盛り:週あたり感染者数(人)

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:大阪(2020年3月1日~2021年4月10日)





主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:宮城(2020年3月1日~2021年4月10日)



主要繁華街 滞留人口モニタリング 重点措置適応前後の推移 2021/04/13 まで

【東京都】

• 宣言解除後1週目で急激に増加した繁華街滞留人口は、解除後2週目後半から減少に転じたが、その後横ばいで推移。昼間滞留人口は宣言解除前の水準まで減少。一方、夜間滞留人口は、依然として高い水準で推移。重点措置適応決定のアナウンス後も夜間滞留人口は減少せず、週末には増加(駆け込み会食か)。

【大阪府】

重点措置適応決定のアナウンス後、繁華街滞留人口は急激に減少。夜間滞留人口は宣言解除前の水準にほぼ戻りつつあり、昼間滞留人口は宣言解除前の水準よりさらに減少している。実行再生産数は依然として高い水準にあり、滞留人口減少の効果が現れるまで一定の時間を要する可能性あり。

【宮城県】

• 重点措置適応決定のアナウンス後、繁華街滞留人口は急激に減少。重点措 置適応後、夜間滞留人口は引き続き減少しているが、昼間滞留人口は早く も増加に転じている。

参考資料:緊急事態宣言中の最低値時点と先週(21.4.4-10)の夜間滞留人口の比較

		1回目	2回目
東京	最低時点 (週単位)	20.4.12-18	20-22時:21.1.10-16 22-24時:21.1.24-30
	20-22時	3.74倍	1.78倍
	22-24時	2.95倍	1.61倍
大阪	最低時点 (週単位)	20.5.3-9	21.1.17-23
	20-22時	2.05倍	1.17倍
	22-24時	1.83倍	1.13倍